

産業廃棄物処理計画書		令和 4 年 6 月 30 日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 磐田市今之浦5丁目1番地1 氏名 石川建設株式会社 代表取締役社長 石川有造 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0538-36-0021		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	石川建設株式会社	
事業場の所在地	磐田市今之浦5丁目1番地1	
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	総合工事業	
② 事業の規模	完成工事高 75億	
③ 従業員数	86名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 廃棄物処理フロー図参照	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 廃棄物管理組織表 別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙3 産業廃棄物発生量参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現場内での加工を極力無くし、工場での加工を多くする。 ・製品や材料の包装の簡素化、無包装を依頼する。 ・着手前検討会・施工検討会にて産廃減量化の検討。		
②計画	【目標】 別紙3 産業廃棄物の発生量目標参照		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状で行っていることを継続的に実施。 建設業は工事の取得状況によって排出量は増減しますので、再資源化の向上に努めたいと思います。又、建築の新築現場においては排出量を20kg/m ² 以下を目標とする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類、紙くず、金属くず等は再資源化施設へ運搬、廃石膏ボードの一部はメーカーへ、又特定建設資材は再資源化実施、「混ぜればゴミ・分ければ資源」の徹底を図る。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出される産廃は現場の状況によりますが、現状の分別に加えて極力分別の種類を増やす努力をしたいと思います。但し、現場のスペースも考慮する。「混ぜればゴミ・分ければ資源」の徹底を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】—————		
	産業廃棄物の種類	—————	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	————— t	t
	(これまでに実施した取組) —————		
②計画	【目標】—————		
	産業廃棄物の種類	—————	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	————— t	t
	(今後実施する予定の取組) —————		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】—————		
	産業廃棄物の種類	—————	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	————— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	————— t	t
(これまでに実施した取組) —————			
②計画	【目標】—————		
	産業廃棄物の種類	—————	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	————— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	————— t	t
(今後実施する予定の取組) —————			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】 _____		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_____ t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】 _____		
	産業廃棄物の種類	_____	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	_____ t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 3 年度）実績】 別紙4 産業廃棄物の発生・処理状況参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・処理業者と委託契約を結ぶにあたっては、許可証の確認と処理場の現地確認を行っています。又、継続的に取引のある業者への、年1回の現地確認を行っています。 ・電子マニフェストの利用を高める。 ・令和2年度は電子M % 紙M %でした。		

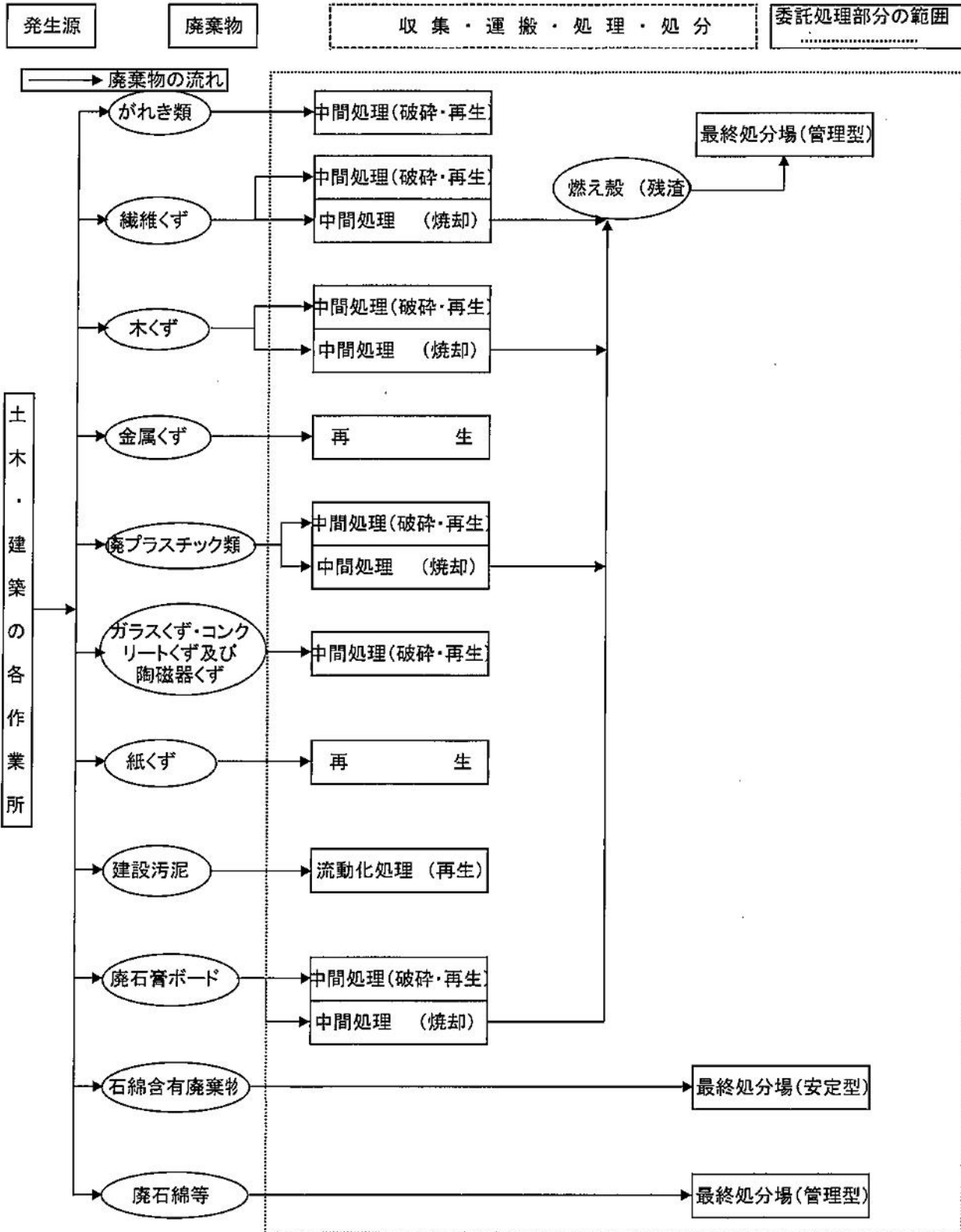
②計画	【目標】 別紙4 産業廃棄物の発生量目標参照	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
<p>(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託を増やしたいが、認定業者の数が少ないので課題もあります。令和2年度は全排出量の %を優良認定業者にて処分。 電子マニフェストの更なる利用を啓蒙する。又、世界的に問題となっている廃プラスチック類の減量を図りたい。</p>		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

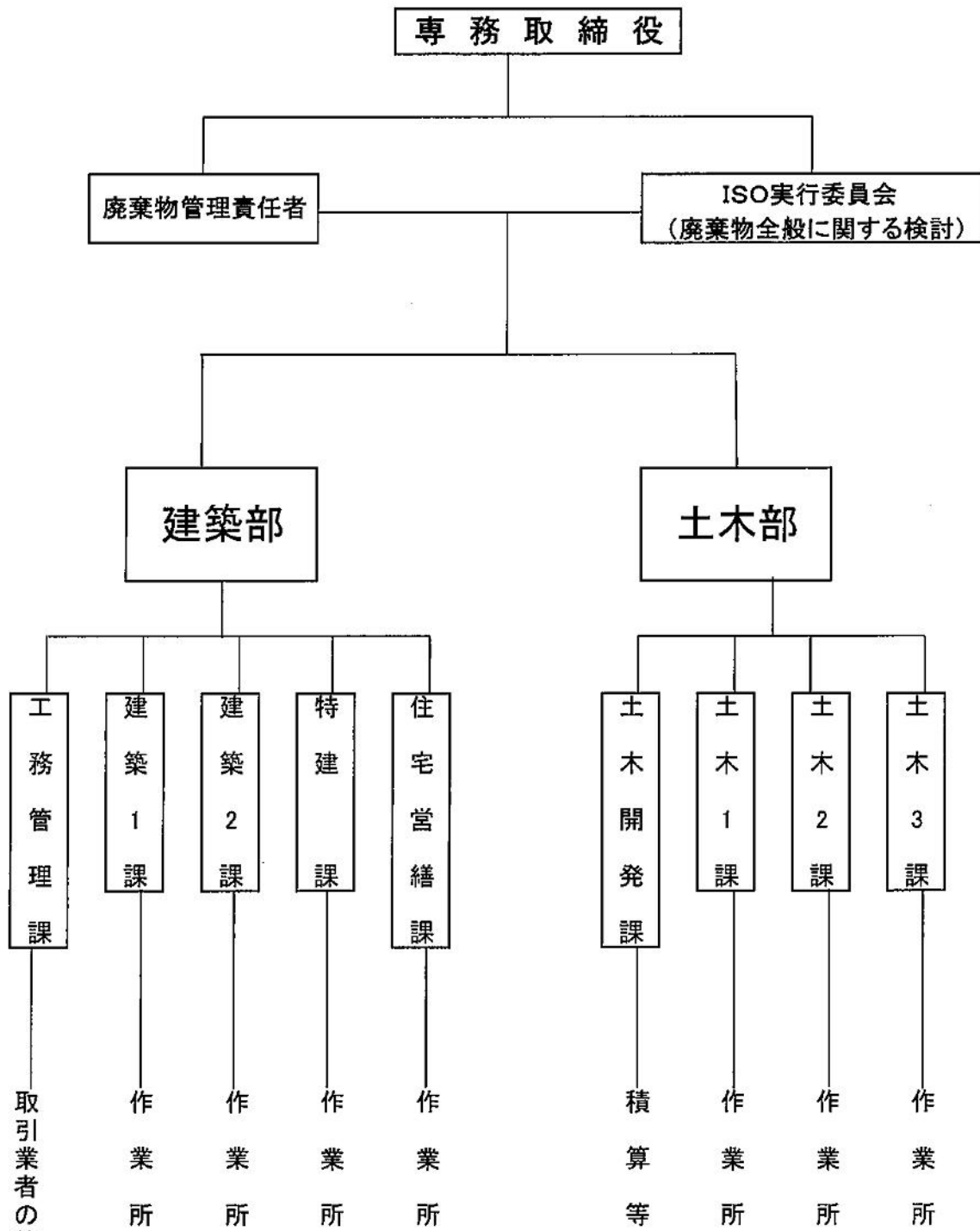
廃棄物処理フロー図

別紙1



廃棄物管理組織表

別紙2



取引業者の管理等
廃棄物の実務担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

前年度(2021年)の実績および目標

別紙3

	廃棄物の種類	R3年度発生量(t)	目 標(t)
1	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず	1,422.71	1,500.0
2	廃石膏ボード	76.96	100.0
3	木くず	537.99	1,100.0
4	木くず(伐採材・伐根材)	641.44	
5	建設混合廃棄物(安定型)	10.06	250.0
6	建設混合廃棄物(管理型)	201.47	
7	燃えがら	0.00	0.0
8	建設汚泥	665.34	600.0
9	がれき類	16,216.51	15,000.0
10	廃プラスチック類	110.26	100.0
11	金属くず	31.00	30.0
12	繊維くず	1.09	1.0
13	石綿含有産業廃棄物	101.10	100.0
14	紙くず	0.75	1.0
15	廃油	0.00	0.0
16	蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	0.40	0.50
	合計	20,017.08	18,782.50

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（2021年度）実績】

	単位=t													
	がねま	繊維くず	木くず	金属くず	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙くず	建設汚泥	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	廃油	燃えがら	蛍光灯
①産業廃棄物発生量	16,216.51	1.09	1,179.43	31.09	110.26	1,422.71	0.75	665.34	76.96	101.10	211.53	0.00	0.00	0.40
②全処理委託量	16,216.51	1.09	1,179.43	31.09	110.26	1,422.71	0.75	665.34	76.96	101.10	211.53	0.00	0.00	0.40
優良認定処理業者への処理委託量	72.00	0.00	132.00	4.50	6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	10.00	6.00	0.00	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	16,216.51	1.66	1,179.43	31.09	110.26	1,422.71	0.75	665.34	76.96	101.10	211.53	0.00	0.00	0.40
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分業者への委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	28.50	0.00	0.01	0.00	0.00
種類別合計	16,216.51	1.09	1,179.43	31.09	110.26	1,422.71	0.75	665.34	76.96	101.10	211.53	0.00	0.00	0.40
総合計	20,017.08													

【目標】

	単位=t													
	がねま	繊維くず	木くず	金属くず	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙くず	建設汚泥	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	廃油	燃えがら	蛍光灯
①産業廃棄物発生量	15,000.00	1.00	1,100.00	30.00	100.00	1,500.00	1.00	600.00	100.00	100.00	250.00	0.00	0.00	0.50
②全処理委託量	1,500.00	1.00	800.00	80.00	65.00	35.00	1.00	5.00	220.00	1.00	320.00	0.00	0.00	0.10
優良認定処理業者への処理委託量	500.00	0.00	50.00	10.00	5.00	10.00	0.50	0.00	0.00	1.00	20.00	0.00	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	1,500.00	1.00	800.00	80.00	65.00	35.00	1.00	5.00	220.00	0.00	320.00	0.00	0.00	0.10
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最終処分業者への委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00
種類別合計	15,000.00	1.00	1,100.00	30.00	100.00	1,500.00	1.00	600.00	100.00	100.00	250.00	0.00	0.00	0.50
総合計	18,782.50													